

【草花の部屋】

ヒメヒオウギアヤメ (アヤメ科フリージア属 *Freesia laxa*)

和名 : ヒメヒオウギアヤメ (姫檜扇菖蒲) **別名** : アノマティカ・ラクサ

英名 : Scarlet freesia

キジカクシ目 多年草

原産地 : 南アフリカ

花言葉 : 素直さ、達成

花の色 : 青、白、桃



← 写真-1 ヒメヒオウギアヤメ

撮影日 : 2004年05月13日

撮影場所 : M邸

(大和郡山市内)にて

撮影者 : Mさん

6枚の花びら(花被片)のうち下側の3枚のつけ根の部分に濃い紅色の斑が入るのが特徴です。ヒメヒオウギアヤメは、半耐寒性の秋植え球根で、夏は休眠します。日本へは大正期に入り、観賞用に栽培されてきましたそうです。開花期は4月～5月。

土の凍結、霜や寒風に当たるなどすると枯れてしまいます。関東では室内に取り込む必要がありますが、関西ならば軒下で越冬可能だそうです。

黒い艶のある種ができるので、これを採って蒔くとよく生えるそうです。暖地では、こぼれダネで自然にふえるほど丈夫です。